



デザインとは、人間の内なる情熱の発露であり、作り手は、それを形で表し、受け手もそれに反応する。文化はそうした情熱のぶつかり合いの中から芽生え、独自の文化として昇華していくのだと思う。

今後、日本の個性を世界に示していくには、各地域がどれだけ独自の個性を持ち得るかが問題であり、そのためには地方の自主性を尊重したデザイン政策の確立が不可欠だと思う。

時事通信社『地方行政』知事寄稿より

シャワー通り

E S I G N